

4
(月)

復活信仰に堅く立つ

コリントの信徒への手紙Ⅰ一五章50〜58節

こういふわけですから、しっかり立って、動かされることなく、いつも主の業に励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつて無駄でないことを知っているからです。(58)

キリストの復活により、人間にとつて最大の敵であつた死に勝利する道が開かれたことをパウロは力強く宣言しました。私たちの将来には、死ではなく、復活という究極的な勝利が待ち受けているからこそ、パウロはこの世に生きるキリスト者に確信をもつて語ります。「しっかり立って、動かされることなく、いつも主の業に励みなさい」。「しっかり立って」とは、復活という確かな土台の上に腰を据えて動かないような姿で立つことを表します。私たちの存在の土台を不安定な現時点ではなく、復活という将来の希望に置くとき、はつきり見えてくることがあります。地上の様々な労苦が、どれ一つとして無駄になることはないということです。キリストの復活に堅く結びついたこの希望と確信に背中を押されるようにして、私たちは今日も全力で主のわざに励むことができます。